

エントリーカード（企業用）

① 社名 (担当部署)	株式会社 クボタ (CSR企画部 サステナビリティグループ)			
② 連絡先	TEL	090-5967-4934	メールアドレス	seiichi.honjo@kubota.com
③ 社会貢献 活動分野	まちづくり、環境保全、〇社会教育			

④ 活動内容

＜農業支援や環境教育等で地域に貢献＞

1. 小学生の農業体験や職場体験を支援しています。(グループ会社・近畿クボタ)

2014年、神戸市八多小学校の3・5年生36名を対象に、おこめ作りを体験する「クボタ元氣農業体験教室」を開催しました。これは、2008年よりクボタグループが取り組んでいる社会貢献活動「クボタeプロジェクト」の一環で、全国で展開しています。今回は、秋に刈取りと脱穀の2回に分けて体験、「農作業の過去と現在」をテーマに、昔ながらの農機具を用いた農作業と農業機械による農作業の違いを体験してもらいました。

兵庫県内ではこれまでも神戸市立湊山小学校、三田市立松が丘小学校、豊岡市立小坂小学校・新田小学校などでも実施しています。全国では2015年度までにのべ75件の体験教室を実施してきました。

また、水道用の鉄管をつくる職場での工場見学も積極的に実施しています。製品が出来るまでの工程を見学いただくとともに、粉じんや騒音の発生しやすい鋳物の工場での環境改善に取り組んでいる職場の様子を紹介や、廃棄物リサイクルの仕組みを紹介している「環境道場」の見学などが出来るようにしています。
2. 耕作放棄地の再生もお手伝いしています。(グループ会社・近畿クボタ)

2008～2009年の2年間、丹波市市島町下竹田樽井地区の農地再生に取り組みました。全国ではのべ123件、約180ヘクタールの再生のお手伝いを実施しています。
3. 地域の農産物をPRする“いきいきマルシェ”を開催しています。(グループ会社・近畿クボタ)

2014年夏より定期的にJR尼崎駅前Q'sモールにて、兵庫県内をはじめ近隣府県自慢の農産物や加工食品を販売する地域の皆さんに集まっていただき、即売イベント「いきいきマルシェ」を開催しました。

新鮮な野菜や、丹波の黒豆、淡路の玉ねぎや水産物を使った加工食品など、地域特産の品々の紹介を通じて、地域発展・活性化に貢献しています。
4. 兵庫県が尼崎臨海地域で進めている「尼崎21世紀の森構想」に参加しています。
(阪神工場)

兵庫県が進める尼崎臨海地域約1000ヘクタールを100年後に緑豊かな森にするプロジェクト「尼崎21世紀の森構想」に協力しています。植樹に使用される苗木を従業員が交替で育てています。将来、尼崎臨海地域が緑豊かな場所になることを願っています。
5. 「阪神南ふれあいフェスティバル」に協力しました。(阪神工場)

尼崎市内で開催された「阪神ふれあいフェスティバル」で、現在の阪神南地域を30年後に伝えるタイムカプセルを設置することになり、弊社の水道管製造技術を活かし、

タイムカプセルを制作させていただきました。カプセルには、小学生のメッセージや地域の魅力を伝える写真、公募した俳句・川柳などが収められました。

6. 地域清掃活動にも参加しています。

クボタグループでは、各事業所で地域の環境美化・清掃活動に取り組んでいます。尼崎市の実施されている「たそがれクリーンキャンペーン」に参加している他、蓬川河川敷で草刈りや清掃活動に取り組んでいます。

ホーム
ページ

<http://www.kubota.co.jp/csr/index.html>

⑤ 社会貢献活動への思い

事業も含めて社会課題の解決に貢献を目指す企業として、社会貢献活動に結びつくことを見出して支援していきたい、そしてそれを見出すためには、地元に着目していることが大事であると考えています。また、農業体験を通じて、自分の食べているものを大切に、農業にも関心をもってもらいたいと考えています。

生産拠点では、地域の緑化・活性化、環境教育等にも、地域の一員としての役割を果たしていければと考えています。

⑥ 効果、そして今後に向けて

小学生の農業体験では、子どもたちから学ぶことが多く従業員の社会貢献に対する意識の向上に繋がりました。例えば、「コンバインで刈り取ると早いけど、雑にならないか。手でやる作業は大変だけど、大切だと思う」という感想がありました。まさに目からウロコです！人間の作業を楽にするために機械化を進めてきましたが、子どもの感想から、米作り文化の大切さを忘れてはいけないと感じています。

「尼崎21世紀の森構想」や「阪神南ふれあいフェスティバル」への参画、小学生の工場見学受入れ等を通じて、地域とのつながりも感じることができました。